

神戸支部

活動報告(1～3月)

1. 平成29年度神戸船員災害防止連絡会議企画部会

開催日時:3月12日(月) 13:00～

開催場所:但馬漁業センター 会議室

議 題 等:(1) 平成29年度但馬地区の船員災害防止活動状況について

(2) 平成28年度但馬地区の船員災害疾病発生状況について

(3) 平成30年度但馬地区の船員災害防止活動について

神戸支部主催で香住港において生存対策講習会を計画している旨を説明し、
開催時の関係者の協力等を要請した。

2. 神戸支部安全衛生講習会

開催日時:3月13日(火) 14:30～16:00

開催場所:神戸郵船ビル 4階会議室

演 題:(1) 「救命胴衣の点検整備等について」

講師 高階救命器具株式会社 営業部

課長 井関 幸次 様

(2) 「最近の船員災害発生状況と第11次船員災害防止基本計画について」

講師 神戸運輸監理部 船員労働環境・海技資格課

課長 内山 雅史 様

参 加 者:39名



救命胴衣の膨張体験



基本計画は5カ年計画

3. 公園から抜粋

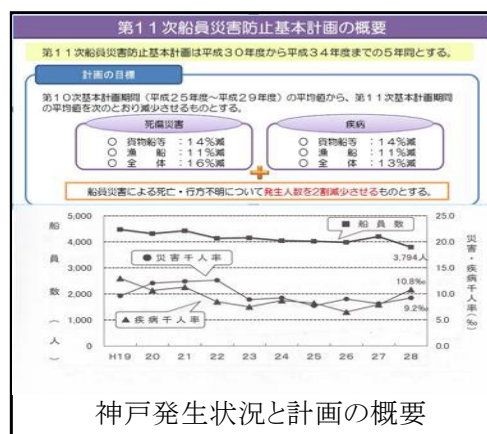
(演題 1 について)

実際に点検した事例として、「手動式充てん装置の手動レバーをビニールテープで固定していたため、手動レバーが引けない」、「ガスボンベのガスは充てんされているがサビが大量発生していて、サビが気室にこすれ気室に傷をつける恐れがあった」などの危険事例の紹介があった。点検整備した膨脹式救命胴衣のうちじつに 29% のものに、ボンベの緩み、センサーの消費期限切れ、気室のピンホール(傷)などの不具合が発見された。(高階社 2014, フィッシングショーでの統計による。)



(演題 2 について)

平成 28 年度神戸運輸監理部管内の災害疾病発生状況では、災害、疾病ともに前年度より増加しており、引き続き災害、疾病の減少への船員の意識向上と関係者の努力が必要となっている。第 11 次船員災害防止基本計画では、平成 30 年度からの 5 年間で計画期間として、船員災害の現状分析から計画期間中に取り組むべき船員災害防止のための対策を示し、災害及び疾病の第 10 次船員災害防止基本計画期間(H25 年度～H29 年度)の平均値からの削減目標を死傷災害で 16% の減少、疾病で 13% の減少としている。船員災害防止基本計画に基づいて取り組みを進め、災害及び疾病の削減に協力に取り組んでいくこととなる。



3. 事務局から

上記に加え、高階社及び参加者のご協力を得て、膨脹式作業用救命衣の装着、膨脹体験の場も作って頂いた。また参加者から、「乗船中は操練、安全教育で同様な体験をしたが、メーカーさんから実物を前にして直接話を聞いたのは貴重なことであった」、「ライフジャケットの実演を見ることが出来て参考になった」、「他の救命器具関連の実物を多数見たかった」、「船舶に積み込んでいる状態の事例なども話して頂くと最っと臨場感が増すと思った」などの声も頂いた。アンケート結果では、ほぼ全員から「今後の安全防止諸対策に役立てたい」との回答を得た。

講師を派遣して頂いた、高階救命器具株式会社(船員災害防止推進会会長、本社:大阪市。)、神戸運輸監理部、並びに参加して頂いた会員各社の皆様にこの場を借りて改めて感謝の意を表させていただきます。

活動予定(4～6 月)

船員災害防止連絡会議	5 月	神戸市
生存対策講習会	6 月 3 日	香住港
支部運営委員会、総会	6 月	神戸市
保護具等取扱講習	通年	(会員の希望により実施。)